

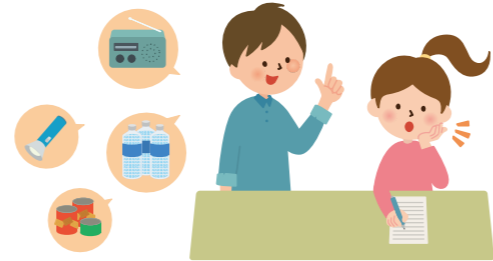
# 突然起こる地震

洪水やいつ起こるか分からない地震は、日頃から備えておく必要があります。



地震は、いつ起こるか分かりません。そのため、地震が起きたときのことを想定し、日頃の備えが大切です。

## 知る 震度の内容



緊急地震速報(予報)		緊急地震速報(警報)		緊急地震速報(特別警報)		
震度 3	震度 4	震度 5弱	震度 5強	震度 6弱	震度 6強	震度 7
大半が揺れに気付く。	大半が揺れに驚く。	物につかまりたいと感じる。	行動に支障がでる。	立っているのが困難。	立っていることができず、這わないと動けない。揺れにほんろうされ、動くこともできず、飛ばされることもある。	
▶▶▶ 危険度大						

**緊急地震速報を聞いたら、身の安全を最優先に!** 緊急地震速報は、地震の発生直後に震源近くで地震波をキャッチし、強い揺れが始まる直前に知らせる情報です。

## 備える 家屋・室内の安全対策をし、被害を抑える



<p>耐震診断を受け、必要に応じて補強する。</p>	<p>家具が倒れても安全な配置になっているか見直す。</p>	<p>出入口は物が倒れても通れるように見直す。</p>	<p>タンスは床側にストッパーで、天井側はポール式器具で固定。食器棚はL字金具やワイヤーで壁に固定。引き戸には留め具を。</p>
<p>テレビは粘着マットを敷いて転倒を防ぎ、裏側をワイヤーなどで壁やテレビボードに固定する。</p>	<p>照明は複数のチェーンで天井にとめて固定する。</p>	<p>冷蔵庫は、裏側をワイヤーなどで壁に固定する。</p>	<p>塀や壁にひび割れなどがないか確認する。</p>

## 行動する 緊急地震速報～地震発生

- 家**では丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- 外にいるとき**はブロック塀の倒壊、看板やガラスの落下に注意する。
- 運転中**はハザードランプを点灯し、緩やかに速度を落とす。道路の左側に停止し、エンジンを切る。
- 施設内**では係員の指示に従う。あわてて出口に走らない。



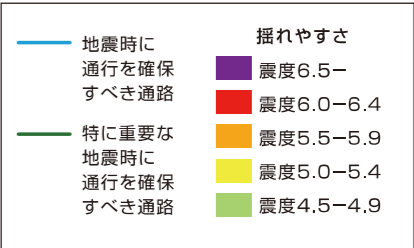
## 行動する 地震発生後

- 揺れが収まったら、**火の始末**をする。
- スリッパなどをはき**、転倒した家具やガラスの破片などに気を付ける。
- 窓や戸を開け、**出口を確保**する。
- テレビ、ラジオ、役場などの情報から**正しく状況を把握**する。
- 危険が迫っていると判断した場合は**避難**する。
- 自宅の安全を確認後、**近所にも声をかけて**安否を確認する。
- 避難は**徒歩**で行い、持ち物は**背負える**範囲にする。
- 近隣住民で協力**して消火活動や救護活動を行う。

## トピックス 危険を知る

## 揺れやすさマップ

「揺れやすさマップ」は、新十津川町で発生すると考えられる想定地震\*のうち、もっとも揺れの大きな地震について、地盤情報などから計算された揺れの大きさの地域ごとの分布をあらわしています。



**想定地震**  
 北海道の調査結果を踏まえ、新十津川町への影響が大きいと想定される「十勝沖・釧路沖の地震」、「沼田-砂川付近の断層帯」による地震、「全国どこでも起こり得る直下の地震」という3つの地震の中から、もっとも揺れが大きくなる「沼田-砂川付近の断層帯」による地震を想定し、国道275号沿道の新十津川町の中心部で震度6強、山沿いの地域でも震度6弱の揺れが生じるものと推定しています。

